

JIS

自転車用タイヤバルブ

JIS D 9422 : 2021

(JBPI/JSA)

令和 3 年 3 月 22 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒 井 信 介	横浜国立大学
(委員)	秋 山 進	株式会社デンソー (公益社団法人自動車技術会)
	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	市 川 直 樹	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	伊 藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	木 村 たま代	主婦連合会
	佐 伯 誠 治	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	佐 伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	千 葉 光 一	関西学院大学
	寺 澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	奈 良 広 一	長野計器株式会社
	久 田 真	東北大学
	藤 本 浩 志	早稲田大学
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	東京女子医科大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線 医学総合研究所
	山 田 陽 滋	名古屋大学
	和 迺 健 二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 36.3.1 改正：令和 3.3.22

官 報 掲 載 日：令和 3.3.22

原 案 作 成 者：一般財団法人自転車産業振興協会

(〒590-0948 大阪府堺市堺区戎之町西 1 丁 3-3 TEL 072-238-8731)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類及び記号	1
5 パルプの構成	2
6 性能	7
6.1 気密性	7
6.2 ゴム座の接着力	7
7 寸法	7
8 外観	7
9 試験方法	7
9.1 気密性試験	7
9.2 ゴム座の接着力試験	8
10 製品の呼び方	8
11 表示	8
附属書 A (規定) 自転車用タイヤバルブのねじ	9
附属書 B (参考) メタルベースバルブ	12
解 説	17

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般財団法人自転車産業振興協会（JBPI）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS D 9422:2008** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

自転車用タイヤバルブ

Tire valves for bicycles

1 適用範囲

この規格は、JIS K 6304 に規定する自転車タイヤ用チューブに用いるタイヤバルブ（以下、バルブという。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS D 4211 自動車用タイヤバルブコア

JIS K 6304 自転車タイヤ用チューブ

3 用語及び定義

この規格には、定義する用語がない。

4 種類及び記号

バルブは、空気のシール構造及びチューブへの接合方式によって、a)及びb)のとおりに分類し、記号を用いて種類を表す場合は、c)による。

a) 空気のシール構造は、表1の3種類とする。

表1—空気のシール構造による種類

種類	記号	空気のシール構造
英式バルブ	E	虫ゴムによるもの
米式バルブ	A	弁パッキングを用いるもの
仏式バルブ	F	胴パッキングによるもの

b) チューブへの接合方式は、表2の2種類とする。

表2—チューブへの接合方式による種類

種類	記号	チューブへの接合方式
ラバーベースバルブ ^{a)}	R	ゴム座接着（ゴム座でチューブに接着する方式）
メタルベースバルブ	M	金属圧接（ボデーのつばと座金とでチューブを挟む方式）

注^{a)} ラバーカバードバルブを含む。